

定例市長記者会見録

日 時：7月23日(木) 午後1時30分～1時50分

場 所：本庁舎6階 特別会議室

出席者：一 宮 市 中野市長、福井副市長、田中副市長

報道機関 中日新聞、読売新聞、時事通信

本日の案件は3件です。

1 番目は「小椋久美子さんと伊藤則子さんを迎え『ユニバーサルスポーツ体験会』を開催します」についてです。

これは、アジア・アジアパラ競技大会の機運醸成に向けたイベントになります。9月12日(土)の午後1時から、いちい信金中央アリーナにて定員約100名でユニバーサルスポーツ体験会を開催します。

ゲストのお二人のうち伊藤則子さんは、東京パラリンピックやパリパラリンピックに出場されています。市内で小学生向けイベントが5月に行われた際も伊藤則子さんにお越しいただき、子供たちとの交流事業で活躍していただきました。

小椋久美子さんは、オリンピックで活躍されたほか、テレビで人気のタレント活動もされています。

申し込み期間は、本日から8月11日(火)までです。初心者の方も大歓迎で、イベント内容は「アスリートとの競技体験を30分×3種目」で、バドミントンの経験があまりない方や、上手ではないという方も、ぜひお申し込みいただければと思います。

一宮市が競技会場になっているバドミントンとパラバドミントン以外に、ボッチャも体験していただけます。ユニバーサルスポーツとして、みんなが体を動かしてスポーツを楽しめる体験を共有できるボッチャもポピュラーになりつつあります。今回は、あいちボッチャ協会の方にご指導いただきます。

アジア・アジアパラ競技大会は9月19日(土)からスタートします。一宮市でも聖火リレーが9月5日(土)に予定されています。アイドルグループSKE48の一宮市出身の2人(石黒友月さん・野村実代さん)と、バレーボールのウルフドックス名古屋の市川健太選手に参加していただくことになっています。様々な手法でアジア・アジアパラ競技大会が盛り上がることを期待しています。

2 番目は「一宮市民会館がリニューアルオープンします」についてです。

一宮市民会館は築50年が経過し、傷みが激しくなり老朽化が進んでいたことから、2025年4月から約1年半にわたり休館し、大規模改修工事を行ってきました。このたび工事が完了し、9月1日(火)にリニューアルオープンを迎える運びとなりました。これを記念して、特別企画「一宮音楽の日」を開催します。

大規模改修の内容は、災害対策として地震発生時の安全性を高めるため、特定天井（つり天井）を強化しました。外壁なども同様に修繕および更新を行っています。

ホールの客席座席について、1階中央部分の座席を千鳥配置に変更しています。千鳥配置とは、座席を列ごとに真つすぐ並べると前の人の頭で舞台が見えにくくなってしまうため、前後の列で座席の位置を少しずつ互い違いにずらして配置することで、視界を遮らないよう工夫しています。

また、バリアフリー化にも力を入れました。車いすをご利用の方などの優先駐車場を整備し、そこからの移動動線を考慮して屋根を設置しました。雨の日でも濡れずに移動していただけになります。

さらに、3階には多目的トイレを設けたほか、授乳室や多目的室も新たに設置しました。赤ちゃんが泣いてしまった際や、じっとしているのが苦手なお子さんと一緒に少し心配だという方などに安心してご利用いただけます。このほか、エレベーターの安全対策工事も実施しました。万が一の地震や不具合の発生時にも、扉が開いた状態では動かないようにするための安全装置などを設置しています。

リニューアルオープンについては、記念式典を9月1日（火）の午後3時から開催します。今回のリニューアルオープンに合わせて、一宮市民会館の中に子どもを遊ばせることができるキッズスペースを新設しました。こちらの遊具や物品は、一宮ロータリークラブから寄贈していただくことになっています。

そして、指定管理者の自主事業としてリニューアルオープン記念イベントを行っていただきます。9月1日（火）には記念コンサート、5日（土）・6日（日）には「Boys Dance & Vocal Group フェス in 一宮」が開催されます。こちらは、地元名古屋を中心に大人気のBOYS AND MENに出演していただけます。

その翌週末の12日（土）には近藤真彦さんのコンサートツアーが予定されていますが、こちらはすでにチケットが完売しています。

3番目は「i-バス 10月1日から、新たなコース・ダイヤとなります」についてです。

10月1日（木）からi-バスの運行ルートやダイヤを大幅に見直します。

一宮市内では、名鉄バスが9路線を運行していますが、それ以外に市がコミュニティバスとしてi-バスの6路線を運行しています。市民の皆さまから公共交通機関のあり方について、免許を返納された方の利便性の確保や、i-バスの運行ルート・ダイヤなど、さまざまな観点から多くのご意見をいただいています。

そうした中で、i-バスを公共交通機関として走らせる以上、実際に利用がなければ成り立たないので、需要との兼ね合いを見極めながら、市も試行錯誤している状況です。「公共交通計画」は基本的に4～5年周期で見直しを行っており、今回のコース・ダイヤの見直しも足掛け3年ほどかけて地域の皆さまと対話を重ねながら意見の集約を図り、10月1日（木）から変更することになりました。

変更内容の中で一番大きいのが①「木曽川・北方コース」です。これまで「木曽川・北方コース」は時計回りに1周するルートで運行しており、片側循環に1周約70分かかっていました。また1日9便の運行でしたが、現状の時計回りの片側循環コースでは使い勝手が悪いというご意見がありました。

もちろん、往復に変更すると運行便数は減ってしまいますが、地元ともいろいろと議論を重ねて調整してきました。最終的に今回のコース・ダイヤ変更としては、往復に変えて、1便あたり約2時間、1日5便で運行します。

このコースは最も赤字額が大きく、1乗車当たり100円の受益者負担に対して、市が約1,450円を負担している状況です。当地域では名鉄バスが運行していないため、市のコミュニティバスを工夫して新しいコースを考えました。

これからも年間利用者数など市としてもバス停ごとにカウントしていきます。引き続き地域との情報交換や意見交換を行い、利用者の増加につなげたいと考えています。

同様に、②「尾西北コース」や③「一宮コース」、④「尾西南コース」は、それぞれの地域の事情を踏まえて変更しています。④「尾西南コース」については、改正道路交通法施行令の施行により、9月から法定速度が厳しくなるため、ダイヤを変更します。

生活道路は、一律に法定時速が30km/hになります。このため、バスもスピードダウンになります。それによって、1日8便が1日7便になる状況も生じます。「千秋町コース」や「大和町・萩原コース」のように変更がないコースもありますが、市が運営しているコミュニティバス6路線のうち、4路線については、10月1日（木）から変更します。

市としては、今回のi-バスのコース・ダイヤの見直しにより利用が増えることを願っています。

以上、私からの資料説明となります。

質疑応答

■小椋久美子さんと伊藤則子さんを迎え「ユニバーサルスポーツ体験会」を開催します

（記者）一宮市が主催している事業ですか？

（市長）一宮市の主催です。

（記者）会場ではアジア・アジアパラ競技大会をパネルなどでPRするのですか？

（市長）その予定です。

（記者）申し込みは電子申請のみですか？

（市長）そうです。

■一宮市民会館がリニューアルオープンします

（記者）工事はいつ終わる予定ですか？

（職員）工事期間は8月31日（月）までです。

(市長) 現実に最終の手入れなどの追加工事が発生しています。

(記者) 式典が延期になることは？

(職員) そうならないように頑張ります。

■ i-バス 10月1日から、新たなコース・ダイヤとなります

(記者) 一度に多く乗車できるよう、バスを大型化する予定はありますか？

(市長) そこまで乗客が多くないため、大きさを変える予定はありません。

(職員) 「木曽川・北方コース」では、昨年度1万8,054人が利用されており、1日あたり約50人となります。1区間だけの利用もあるので、現状はあまり乗車していません。

(記者) 現在使用しているi-バスの最大乗車人数は？

(職員) 小型バス(ポンチョ)は33人乗りです。一般的な中型バスは56人です

(市長) 市のコミュニティバス路線は、基本的に不採算が大前提です。名鉄バスでは市民会館でのイベント時に満車となり臨時運行することもあります。コミュニティバスでは、満員で乗れないといううれしい現象はこれまで一度も起きていません。

(記者) コミュニティバスは利用者が少なくても、それがないと困るという人への救済手段ということですか？

(市長) おっしゃるとおりです。

その他、市では名鉄バスと協定を結び、企業として路線を維持してもらえよう、補助金を出す形で2路線を支援しています。